

日本語学習者の作文の縦断コーパス研究

石黒 圭、井伊 菜穂子、本多 由美子 (国立国語研究所研究系)

1. 本研究の出発点 (問い)

海外の大学の日本語学科で日本語をゼロから学び始めた学習者は、大学4年間で、どのような過程を経て作文の執筆能力を上達させていくのだろうか

2. 調査概要

(1) 実施場所

中国、台湾、韓国、ベトナム、タイの複数の大学と連携し、日本語学習者が書いた作文を収集

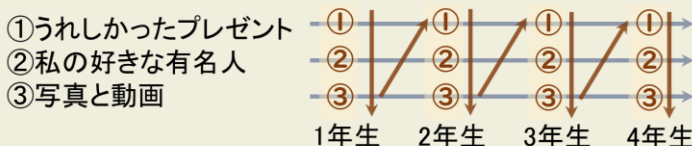


(2) 人数・期間

- ・大学で日本語を学ぶ約600名 (開始時) の学習者
- ・1年生から4年生までの4年間にわたる縦断調査

(3) 作文のテーマ

年3回の調査でそれぞれ異なるテーマ (体験文・説明文・意見文) の作文を執筆 → 毎年繰り返す



- ・異なるテーマの作文を比較することができる
- ・同じテーマで上達していく過程を追うことができる

(4) データの種類

- ・日本語による作文
- ・母語による対訳
- ・作文の執筆メモ

- ・学習者の背景情報 (日本語テスト、フェイスシートなど)

- ・作文の執筆過程



ID番号	分類	日付	時間	入力間隔 (秒)	操作内容2	テキスト全文
0	essay-title	2022/6/14	9:22:49	0	LeftButton	
1	essay-title	2022/6/14	9:23:08	18.705	MetaLeft	
2	essay-title	2022/6/14	9:23:27	19.625	Metal eft	
3	essay-title	2022/6/14	9:23:27	0.001	KeyH	h
4	essay-title	2022/6/14	9:23:28	0.125	KeyA	は
5	essay-title	2022/6/14	9:23:28	0.17	KeyS	は s
6	essay-title	2022/6/14	9:23:28	0.081	KeyI	はし
7	essay-title	2022/6/14	9:23:28	0.127	KeyR	はし r
8	essay-title	2022/6/14	9:23:28	0.105	KeyE	はしれ
9	essay-title	2022/6/14	9:23:28	0.224	KeyM	はしれ m
10	essay-title	2022/6/14	9:23:28	0.096	KeyE	はしれめ
11	essay-title	2022/6/14	9:23:29	0.343	変換	走れメロス
12	essay-title	2022/6/14	9:23:29	0.16	変換確定	走れメロス
0	essay	2022/6/14	9:23:30	0	KeyM	m
1	essay	2022/6/14	9:23:30	0.071	KeyE	め

→幅広い関連データを持つ作文コーパスの構築

3. 予想される成果

- ・日本語レベル別、母語別の教材開発
- ・新たな自動添削、自動評価システムの開発

